

地域協議会だより

発行日 令和5年1月25日
発行人 清里区地域協議会
会長 古澤 文夫
第69号
編集委員 向橋 マチ子
横山 芳一

新年のご挨拶

会長 古澤 文夫

地域協議会を代表して新年度のご挨拶を申し上げます。

今年度で最後となる地域活動支援事業については、9件を採択し予算どおり活用することができました。清里区においては、過去13年間で138件、7千万円余りが地域の活性化のために活用されました。実施された各団体の皆様には心より感謝いたします。

来年度からは、「地域独自の予算」として地域の実情に合った取組を実現することとなり、当地域協議会としては「坊ヶ池周辺の活性化」を最優先課題として捉え、来年度の予算確保に向け市に対し意見書を提出し、活動報告のとおり回答をいただきました。

今年も皆様から大いにご意見をいただき、清里区の発展のため委員一同取り組んでまいります。

皆様にとりまして幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

活動報告

○第8回地域協議会

【10月13日(木)】

★自主的審議

「坊ヶ池周辺の活性化の取組」に関する

意見書の内容について話し合い、内容を決定しました。提出した意見書は裏面のとおりです。

○第9回地域協議会

【11月24日(木)】

★報告事項

提出した意見書に対する市の回答について、説明を受けました。
〈市の回答〉 ※抜粋

市といたしましては、住民の皆さんが熱意をもって主体的に取り組む活動を出発点として支援してまいりたいと考えています。具体的には、地域活動支援事業で実施していた事業や坊ヶ池周辺の取組を地域の課題を解決し活力の向上を図るための「地域独自の予算」の中で実施できるよう検討してまいります。なお、旧山荘京ヶ岳及び坊ヶ池周辺施設については、現在の利用形態を踏まえ適切な維持管理に努めてまいります。

○第10回地域協議会

【12月22日(木)】

★協議事項

地域の活力向上に向けて重視することを「地域活性化の方向性」としてまとめるにあたり、区内で活動する団体等の皆さんと意見交換することになりました。

編集雑感

横山 芳一

新年明けましておめでとうございませう。

先日、過去の地域協議会だよりを見たら、第61号(令和3年1月25日発行)に「新型コロナウイルス感染症」という文字を見つけました。

それから2年経ちますが、年明けに第8波のピークを迎えるなど先が見えない中、私達はいつしかこの状況に「慣れ」てしまい、感染予防対策がおろそかになっている、なんてことはないでしょうか。いま一度自分の生活を見直したいものです。

さて、地域協議会では現在「地域活性化の方向性」について協議をしています。地域の課題であるはずなのに「慣れ」てしまって課題と認識していないものはないですか。

私は、協議会を通じて、清里区のためにできることを考え、「慣れ」をなくしていきたいと思っています。



提出した意見書

令和4年10月13日

上越市長 中川 幹太 様

清里区地域協議会

会長 古澤 文夫

坊ヶ池周辺の活性化の取組への支援に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、「坊ヶ池周辺の活性化の取組」について自主的に審議した結果、現状、課題、解決策を下記のとおりまとめましたので、提出いたします。

記

当協議会では、「坊ヶ池周辺の活性化の取組」を自主的な審議のテーマとし、坊ヶ池周辺で活動する団体や上越清里星のふるさと館等の関係者と意見交換を行い、現状の把握や課題の抽出、必要な支援策について議論を重ねてまいりました。

清里区のシンボルである坊ヶ池は、昔から重要な水がめとして清里区の基幹産業である農業の振興に大きく貢献しているほか、大切な水道用水として利用されており、坊ヶ池周辺の環境保全に関わる地域の取組は、清里区全体にとっても重要であります。

また、坊ヶ池湖畔には新潟県最大の天体望遠鏡やプラネタリウムを備える上越清里星のふるさと館や上越平野を一望できる「清里農村体験宿泊休憩施設（山荘京ヶ岳ほか）」、キャンプ場、京ヶ岳城跡などがあり、地域活性化や教育の場として重要な役割を担っています。

平成29年度に市は山荘京ヶ岳を休館にしましたが、再開を望む地域の強い要望に応える形でNPO法人清里まちづくり振興会が施設名をビュー京ヶ岳に改めて、予約制の日帰り飲食サービスを提供し、地域の会合や観光イベント等に多く利用され、中山間地域の振興、特産品の活用、雇用等に成果がありました。

しかし、コロナ禍等の影響もあり住民組織による運営が厳しくなり、令和2年度で運営から退くと、令和3年度からは（一社）櫛池農業振興会が地元住民及び坊ヶ池湖畔を訪れる来訪者の憩い、交流の場としてビュー京ヶ岳カフェの営業を開始しました。

ビュー京ヶ岳カフェは、休日に限定した営業ですが、地域活動支援事業の助成を得ながら、地域おこし協力隊が運営に関わり、SNSはもちろんマスコミへの情報発信、地産地消の推進、福祉事業所との連携等、地域内外との関わりを深め、取組に携わる住民も増えるなど、地域振興に大いに貢献しています。

しかしながら、施設が老朽化し、かつ施設全体の規模が大きいことから、施設の維持管理に要する経費の負担が過大となっております。

また、隣接する上越清里星のふるさと館では開館当初から天文指導協力員会が地域活動支援事業を活用しながら、スターフェスティバルや隕石落下に関するイベントの開催、ゆるキャラ「くしりん」の制作、天文工作の指導や観望会など、運営を後押ししてきました。

このように地域活動支援事業を活用して、坊ヶ池周辺で地域振興に取り組んできた団体が、地域活動支援事業制度の廃止により活動に支障をきたすことは、清里区の活力の低下につながりかねません。

つきましては、清里区の維持発展のため、それぞれの団体の活動が継続できるよう、以下の取組について市の支援を望むものであります。

- ビュー京ヶ岳カフェの運営に影響する施設維持管理経費への支援
- 天文指導協力員会が行ってきたスターフェスティバル等のイベント支援
- 坊ヶ池周辺の集客につながる統一的な取組への支援